



予選レポート

2017/7/8 Rd-3 富士スピードウェイ

天候：晴れ 気温：30℃ 出走台数：19台

シーズン序盤の2戦3レースは、スプリントフォーマットで争われた2017シーズンの全日本スーパーフォーミュラ選手権。

第3戦富士スピードウェイは、250kmのレースフォーマットで戦われる。

シーズン中盤戦を迎え、どのチーム、どのドライバーが抜け出すのか、シーズンの行方に重要な1戦となることは必至だ。

ノックアウト第1予選、まず中古タイヤでコースコンディションとアタック確認を行った両ドライバーは、残り5分でニュータイヤを装着してコースイン。野尻選手は第1、第2セクターでベストタイムを記録するも、第3セクターでタイムが伸びず9番手。伊沢選手はリアタイヤグリップ不足を解消できず14番手。ともに第2予選に進む。

迎えた第2予選。わずかにセットアップを修正した両ドライバーは、コースオープンと同時にコースイン。アタックに向けてタイヤコンディションを整えるべく、慎重に周回を重ねる。タイヤをウォームアップさせてアタックを開始したその時、残り時間1分というところでスピン車両が発生。赤旗中断となってしまう。その後、セッション残り時間が3分間に延長されて再開。再びコースインし、アタック1発勝負となる。野尻選手、伊沢選手、共に僅かにタイム更新はしたものの、タイヤはベストな状態からは程遠く、野尻選手11位、伊沢選手13位で予選を終えた。

40：野尻選手 予選11位 (第1予選9位 第2予選11位) HONDA 勢3位

車本来の速さとしては、第3予選まで進めるものでした。しかしながら、赤旗中断の影響や、僅差の争いの中、11番手で予選を終える事となってしまいました。

明日はまずスタートを決めてポイント圏内へ。更に表彰台争い出来るようなレースペースで走ることが出来るよう、チームとともに戦略を立て、100%の力を出し切ります。

41：伊沢選手 予選13位 (第1予選14位 第2予選13位) HONDA 勢4位

走り始めからセットアップがまとまらず、やや苦戦しました。

予選は13番手で終える事になりましたが、フリー走行から予選に向けて、走れば走るだけ感触も良くなってきていますし、野尻選手とのデータ共有なども行い、少なくともポイント争いできるレースを展開して、ポイントを持ち帰りたいと思います。